

和歌山県農水産物・加工食品の販売促進戦略 アクションプログラム2021について

本年度、県産品の国内外への販路開拓に取り組む「和歌山県農水産物・加工食品の販売促進戦略 アクションプログラム2021」を策定しましたので、お知らせします。

取組方針

1. 新しい時代に適応したマーケティング手法の導入支援
2. 生産者や事業者の商品力・販売力向上支援
3. ターゲット国・地域に向けた戦略的な輸出の促進
4. 大型展示会からWeb商談まで幅広い商談機会の創出
5. SNSやマスメディアを活用した効果的な魅力の発信

2021 主な施策

下線部は **注目!**

I. 新しい時代に即した販売戦略の導入

■ Webを活用した販路の拡大

- ・「おいしく食べて和歌山モール」の開設
- ・eコマース導入に向けた支援
- ・Web用販売促進ツール等への作成補助

■ 新たな商談の機会創出

- ・和歌山モール商談システムの導入
- ・JAPAN STREET (海外有カバイヤーとの商談)
- ・JAPAN MALL (海外ECサイトとの連携)
- ・Web商談の拡充
- ・わかやま紀州館のショールーム化
- ・地方都市等への販路拡大

■ 戦略的な魅力発信

- ・有名シェフイベントの実施 (料理専門誌や各種メディアとのタイアップ)
- ・「おいしく食べて美しくなるプロジェクト」の推進
- ・ソーシャルメディアや通販番組・通販サイト等の活用

■ 生産者等の商品力・販売力強化

- ・グローバル産地づくりの推進
- ・輸出向けHACCP等対応施設整備
- ・食品輸出セミナー(JETRO、関西広域)
- ・新商品開発等の専門家派遣
- ・販売カススキルアップセミナー
- ・新食品流通基準対応セミナー

新しい時代の
マーケティング

生産者
事業者
支援

II. 海外市場の販路開拓強化

■ 海外展示商談会への出展

- ・中国国際輸入博覧会 (上海)
- ・Wine Paris (パリ)
- ・FHA (シンガポール)
- ・香港Food Expo、THAIFEX等に合わせたWeb商談

■ 国内での商談機会の提供

- ・沖縄大交易会
- ・海外バイヤーとのWeb商談会
- ・輸出商社との商談会

■ 和歌山プロモーション

- ・GI和歌山梅酒のブランド化 (フランス)
- ・ベトナム食品輸出ミッション団の派遣
- ・高級スーパーでの店頭販促等 (米国等)
- ・高級レストランでのフェア開催 (香港等)
- ・新規市場の開拓 (ベトナムへの温州みかん・UAE等)

■ 「おいしい!健康わかやま」の推進

- ・ソーシャルメディアを活用した県産品の魅力発信
- ・ふるさと祭り東京2022
- ・大手食品企業とのタイアップ

■ 県産酒類の魅力発信

- ・GI和歌山梅酒等

III. 国内市場の販売促進強化

■ 大型展示商談会への出展

- ・ダイエット&ビューティーフェア
- ・全国 食の逸品EXPO
- ・スーパーマーケット・トレードショー
- ・FOODEX JAPAN

■ 食品卸主催商談会への出展

- 県主催の商談機会の提供
- ・県産品マッチング商談会
- ・わかやま産品商談会in大阪・和歌山
- ・世界的に有名なシェフ等の招へい

■ 県産品ブランディングセールス

- ・老舗果物専門店等とのコラボ
- ・テロワール、機能性の発信
- 有名百貨店等での販売促進
- わかやま紀州館による販路開拓
- プレミア和歌山のストーリー展開
- わかやま食ツーリズムの推進

商談機会
の充実

戦略的
マーケ
ティン
グ

魅力の
発信等

アクションプログラム2021

和歌山県農水産物・加工食品の 販売促進戦略



おいしい! 健康わかやま



和歌山県農林水産部 食品流通課



和歌山県農水産物・加工食品の販売促進戦略

◆ アクションプログラム2021 取組方針

1. 新しい時代に適応したマーケティング手法の導入支援
2. 生産者や事業者の商品力・販売力向上支援
3. ターゲット国・地域に向けた戦略的な輸出の促進
4. 大型展示会からWeb商談まで幅広い商談機会の創出
5. SNSやマスメディアを活用した効果的な魅力の発信

アクションプログラム2021 目次

I. 新しい時代に即した販売戦略の導入

- Attention!** 1. Webを活用した販路の拡大 P 2
- Attention!** 2. 新たな商談の機会創出 P 3
- Attention!** 3. 戦略的な魅力発信 P 5
4. 生産者等の商品力・販売力強化 P 7

II. 海外市場の販路開拓強化

- Attention!** 1. 海外見本市出展等による商談機会の充実 P 10
- Attention!** 2. 海外における和歌山プロモーション P 11
3. 輸出拡大に向けた環境整備 P 13

III. 国内市場の販売促進強化

- Attention!** 1. 大型展示商談会への出展 P 15
2. 食品卸・商社等主催商談会への出展 P 16
- Attention!** 3. 県主催産品商談会の開催 P 17
- Attention!** 4. 個別商談機会の提供 P 18
- Attention!** 5. 県産品ブランディングセールス P 19
6. 有名百貨店等での販売促進 P 20
- Attention!** 7. わかやま紀州館を活用した販路開拓 P 21
8. プレミア和歌山のストーリー展開 P 22
9. 和歌山食ツーリズムの推進 P 23
10. 「おいしい!健康わかやま」の推進 P 24
11. 大手食品企業とのタイアップによる商品開発 P 25
- Attention!** 12. 県産酒類の魅力発信 P 26
13. 食品関係産業の振興 P 27

2021 主な施策

I. 新しい時代に即した販売戦略の導入

新しい時代の
マーケティング

■ Webを活用した販路の拡大

- ・「おいしく食べて和歌山モール」の開設
- ・eコマース導入に向けた支援
- ・Web用販売促進ツール等への作成補助

■ 新たな商談の機会創出

- ・和歌山モール商談システムの導入
- ・JAPAN STREET (海外有カバイヤーとの商談)
- ・JAPAN MALL (海外ECサイトとの連携)
- ・Web商談の拡充
- ・わかやま紀州館のショールーム化
- ・地方都市等への販路拡大

■ 戦略的な魅力発信

- ・有名シェフイベントの実施 (料理専門誌や各種メディアとのタイアップ)
- ・「おいしく食べて美しくなるプロジェクト」の推進
- ・ソーシャルメディアや通販番組・通販サイト等の活用

生産者
事業者
支援

■ 生産者等の商品力・販売力強化

- ・グローバル産地づくりの推進
- ・輸出向けHACCP等対応施設整備
- ・食品輸出セミナー(JETRO、関西広域)
- ・新商品開発等の専門家派遣
- ・販売力スキルアップセミナー
- ・新食品流通基準対応セミナー

II. 海外市場の販路開拓強化

III. 国内市場の販売促進強化

商談機会
の充実

■ 海外展示商談会への出展

- ・中国国際輸入博覧会 (上海)
- ・Wine Paris (パリ)
- ・FHA (シンガポール)
- ・香港Food Expo、THAIFEX等に合わせたWeb商談

■ 国内での商談機会の提供

- ・沖縄大交易会
- ・海外バイヤーとのWeb商談会
- ・輸出会社との商談会

■ 大型展示商談会への出展

- ・ダイエット&ビューティーフェア
- ・全国 食の逸品EXPO
- ・スーパーマーケット・トレードショー
- ・FOODEX JAPAN

■ 食品卸主催商談会への出展

- 県主催の商談機会の提供
- ・県産品マッチング商談会
- ・わかやま産品商談会in大阪・和歌山
- ・世界的に有名なシェフ等の招へい

戦略的
マーケ
ティング

■ 和歌山プロモーション

- ・GI和歌山梅酒のブランド化 (フランス)
- ・ベトナム食品輸出ミッション団の派遣
- ・高級スーパーでの店頭販促等 (米国等)
- ・高級レストランでのフェア開催 (香港等)
- ・新規市場の開拓 (ベトナムへの温州みかん・UAE等)

■ 県産品ブランディングセールス

- ・老舗果物専門店等とのコラボ
- ・テロワール、機能性の発信
- 有名百貨店等での販売促進
- わかやま紀州館による販路開拓
- プレミア和歌山のストーリー展開
- わかやま食ツーリズムの推進

魅力の
発信等

■ 「おいしい！健康わかやま」の推進

- ・ソーシャルメディアを活用した県産品の魅力発信
- ・ふるさと祭り東京2022
- ・大手食品企業とのタイアップ

■ 県産酒類の魅力発信

- ・GI和歌山梅酒等

I. 新しい時代に即した販売戦略の導入

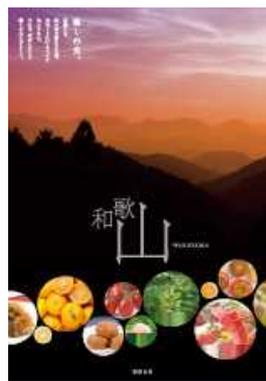
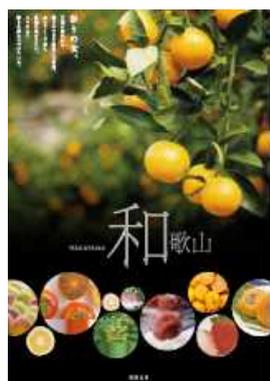
昨今の新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は、「ソーシャル・ディスタンス」や「三密の回避」といった活動スタイルの見直しを促し、人々のコミュニケーションの取り方や消費行動は大きく変化しています。そのため、県産品の販売促進にあたっては、対面を基本としたプロモーションや商談からポストコロナ社会に適応したマーケティングへと大きく変革していく必要があります。

和歌山県は、恵まれた自然環境や温暖な気候を活かした農水産業が盛んな地域で、加工品を含め多くの魅力ある県産品に溢れています。ポストコロナ社会に向けて、この本県の魅力情報を一元的に集約し、あらゆる県産品をすぐに購入できるポータルサイト「おいしく食べて和歌山モール」を開設します。同モールでは、Webによる商談が手軽に行えるよう県産品カタログや中間加工品カタログを一新し、他言語カタログも含め、バイヤーと直接繋がることのできる商談システムを導入します。さらに事業者等がWeb商談においても商品の魅力を十分に伝えることができるよう、デジタルコンテンツの制作等を支援します。

また、果実産出額日本一を誇るなど、和歌山県が「食の宝庫」であることの魅力をより多くの有名シェフやパティシエに伝えるとともに、健康志向の高まりなど時代の潮流に応じ、「食材が持つ機能性」や「美容効果」を切り口とした魅力を各種メディアやSNS等により効果的に情報発信をしていきます。
【新しい時代のマーケティング】

新型コロナウイルスの感染症拡大は、多くの生産者や事業者に大きな影響を与えました。県が昨年実施した「県内事業者事業継続推進事業費補助金」により新たな取組を始めた生産者や事業者も数多くあるなか、引き続き、新しい時代に柔軟に対応した商品づくりやブランド化等を力強くサポートします。

さらに、国内市場のみに依存する農林水産業や食品産業の構造を、成長する海外市場へと転換していくため、輸出先国の規制に対応したHACCP等対応施設の整備やグローバル産地づくりに向けた支援等を実施します。
【生産者・事業者支援】



Attention!

1. Webを活用した販路の拡大

ポストコロナ時代の生活環境に対応するため、県内事業者のeコマースを活用した販売活動を支援

(主な取組)

注目! ○「おいしく食べて和歌山モール」の開設

生産現場の魅力情報を発信するとともに、県内事業者のあらゆる商品がすぐに購入できるポータルサイトを開設し、県内事業者のeコマースを強化



集約

おいしく食べて和歌山モール

- ① 県内事業者の商品情報 (ECサイト) を集約
- ② 購買意欲を高めるコンテンツ (動画(テロワール等)、レシピ等)
- ③ バイヤー向けページ (国内版・海外版 (英語・中国語) 県産品カタログ)

誘客

④ デジタルマーケティング戦略

・大手ショッピングサイト等へのバナーの掲載 ・SNSを活用した魅力発信 など



・魅力ある情報の発信



生産者の思いを伝える動画



収穫体験動画



製造工程動画



県産食材の美味しい食べ方レシピ

- ・こだわり県産品や和歌山ならではの商品を集約
- ・デジタルマーケティング戦略(SEO、SMO、LPO対策等)により誘客

注目! ○eコマース導入に向けた支援 (募集: 5月~)

インターネット販売を始めたい、インターネット販売での売上を伸ばしたい事業者に対して、ECサイトの作成や運営に係る専門家派遣及びeコマースに関するセミナーを開催



Webセミナー

注目! ○Web用販売促進ツール等作成への補助 (募集: 4月~)

農林漁業者等を対象に、①Webページ作成及びリニューアル、②商品PR動画、③商品写真撮影、④外国語翻訳業務、⑤SNSツール活用などの取組を支援

【上限額】: 50万円 【補助率】: 1/2

'20実績

- ふるさと和歌山わいわい市場販売実績 (2020.1~12): 3億688万円 (前年比160%)
- ポケットマルシェ販売実績 (2020.1~12): 7,591万円
- おうちで和歌山ポータルサイトの開設 (2020.5.10): 6.1万PV、動画15.1万再生
- 「ポケットマルシェ」農水産物等のネット販売Webセミナーの開催 (2020.5.1)
- 初めてのeコマース支援事業の実施 (2020.4.28~8.30): 10事業者
- eコマース販売支援オンラインセミナーの開催 (2021.3.4)

Attention!

2.新たな商談の機会創出

従来からの対面式に加えて、Webを活用した商談を国内外のバイヤーと実施するとともに、消費者の行動変容に対応した販路開拓を強化

（国内の主な取組）

注目! OWeb用商談ツールの充実

- 県産品カタログ・県産品中間加工食品カタログをリニューアルし、ポータルサイト「おいしく食べて和歌山モール」内から商談に繋がるバイヤー向けページを導入
- 海外バイヤー向けに英語、中国語のカタログページを制作
- 県内事業者と県産品の最新情報をデータベース化し、国内外のバイヤー向けに紹介

和歌山モール商談システム（仮）

事前登録
バイヤー



- ①検索機能の拡充
- ②修正、更新を各事業者が管理できるシステム
- ③商談に繋がる連絡機能の充実
- ④海外バイヤー向けに独立した翻訳ページ



Web商談

'20実績

- 県内の食品関連情報の収集・提供とデータベースの充実(2021. 3. 31現在)
 - 【県産品カタログ】登録事業者数399事業者、登録件数1692商品
 - 【県産品カタログ（外国語版）】登録事業者数69事業者、登録件数362商品
 - 【県産品中間加工食品カタログ】登録事業者数32事業者、登録件数116商品

注目! OWeb商談の拡充

- ・大手卸やスーパーマーケット等の小売、通販事業者等とWebを活用した商談を実施 【実施時期】 随時
- ・関西広域連合として関西の食を一堂に会するWeb型マッチング商談会を開催 【実施時期】 11月頃



高級スーパーとのWeb商談会

'20実績

- 和歌山県産品マッチング商談会でヴィレッジヴァンガードプレース（株）、（株）京北スーパーとのWeb商談（2020. 10. 8）
- （株）成城石井とのWeb商談会(2020. 10. 29)
- わかやま産品商談会in大阪で（株）RE&S Japan、（株）ゼンシヨク、（株）フジオフードシステムとのWeb商談(2021. 2. 3)

注目! O商談拠点としての「わかやま紀州館」機能強化

- ・東京に設置する県アンテナショップ「わかやま紀州館」をショールームとして、首都圏のバイヤーが商品を手に取り、その場で県内事業者とWeb等により商談をできるなど、首都圏の商談拠点として活用

注目! Oターゲットとするマーケットの拡大

- ・神奈川や千葉等、大都市周辺地域や福岡や新潟等、地方の都市部の百貨店や高級スーパー等での販路開拓や拡大を強化

'20実績

- 県産品マッチング商談会に（株）大寿（神奈川県）、（株）京北スーパー（千葉県）が参加（2020. 10. 8）

（海外の主な取組）

○和歌山フェア開催に向けたWeb商談の開催

海外バイヤー等を招へいし、対面での商談や産地視察が困難な場合、Webを活用した商談会を実施

- ・「和歌山フェア」開催のためのWeb商談会
 - 〈台湾〉 【実施時期】 6月頃
 - 〈マレーシア〉 【実施時期】 10月頃
 - 〈米国〉 【実施時期】 11月頃



ベトナムバイヤーとのWeb商談会

注目!

- ・「和歌山レストランフェア」開催のためのWeb商談会
 - 〈マカオ〉 【実施時期】 6月頃
 - 〈マカオ〉 【実施時期】 7月頃
 - 〈香港〉 【実施時期】 9月頃

注目!

○海外バイヤーとの事前マッチング形式のWeb商談会の開催

FOOD TAIPEI（6月）、香港Food Expo（8月）、THAIFEX（9月）への出展の可能性を探りながら、海外バイヤーとのWeb商談会を実施

- 【参加バイヤー】台湾、香港、タイなど
- 【実施時期】6～9月頃

'20実績

- マカオ日本食料理店シェフとの商談会（2020.5.8）
- 香港への青梅輸出に向けた商談（2020.5.11）
- 米国・ロサンゼルス「和歌山フェア」開催のための商談会（2020.11.11～11.12）
- ベトナム輸入商社及び輸出商社（各2社）とのマッチング商談会（2020.11.24）
- マレーシア・クアラルンプール「和歌山フェア」開催のための商談会（2021.2.2）
- ベトナム・ホーチミンの食品バイヤーとのオンライン商談会（2021.3.10～3.12）

○デジタルを活用した海外展開支援

注目!

・「JAPAN STREET」事業の活用

ジェットロが設定する基準を満たす海外の有力バイヤーのみが閲覧可能なオンラインマッチングサイト「JAPAN STREET」の活用を促進し、県内事業者と海外バイヤーとの商談機会を創出



・「JAPAN MALL」事業の活用

世界各国におけるEC市場の急速な拡大を踏まえ、海外の主要ECサイトを通じた日本商品の輸出拡大を目的にジェットロが展開する「JAPAN MALL事業」の活用を促進

- 【対象国・地域】中国、東南アジア、中東、北米、中南米、欧州など



'20実績

- JAPAN MALL事業 【県内参加事業者】 38社（うち食品事業者30社）
- Alibaba.com出展支援プログラム 【県内参加事業者】 7社（うち食品事業者5社）

注目!

○Web用商談ツールの充実

ポータルサイト「おいしく食べて和歌山モール」内に外国語版県産品ページを作成し、輸出に取り組む意欲のある県内事業者の商品を海外バイヤー等に提案

- 【掲載言語】英語・中国語

Attention!

3. 戦略的な魅力発信

県産食材のブランド力向上と活用促進を目的に県内外のトップシェフによる産地視察や県内生産者等とのワークショップを実施するとともに、健康志向がますます高まる中、「機能性」や「美容」という切り口で県産品の魅力をソーシャルメディア等を活用し情報を発信

(主な取組)

注目! ○有名シェフイベントの実施

県内外のトップシェフによる産地視察及び生産者・料理人とのワークショップを開催



トップパティシエの柿の産地視察



柿のバターサンド



県産食材を使用したワークショップ



トップシェフによるデザート提案

'20実績

○トップシェフによる産地視察及びワークショップ (2020. 11. 16)

○料理専門誌 (Webメディア等) とタイアップ記事を配信

外食業界において知名度が高く影響力のあるレストランの有名シェフを招へいし、魅力ある県産食材の提案を行うとともに、産地訪問の様子を料理専門誌に掲載することで料理業界での知名度とブランド力を向上



料理通信社タイアップ記事：ブルガリイェルレストラン ルカ・ファンティンシェフとラシム高田シェフを招へい

'20実績

○料理通信社「The Cuisine Press」【トップシェフが和歌山の食材に出会う旅】
【トップシェフから次世代料理人、生産者へ。土地を伝える味づくり】 (2020. 10~12)

○通販番組や通販サイト等の活用

拡大する通販市場に対応するため、通販テレビ番組の活用や有名通販サイトのフェリシモ等への提案により県産品のさらなる認知拡大・売上向上を図る。



通販テレビ番組「虎ノ門市場」撮影現場



通販サイト「虎ノ門市場」



通販サイト「オンワード・マルシェ」



'20実績

○テレビ東京系列通販テレビ番組及び通販サイト「虎ノ門市場」

- 【放送日】 2020. 9. 10 (樹上完熟いちじく他)
- 2020. 9. 24 (梅干食べ比べセット)
- 2020. 10. 27 (醤油3点セット、金山寺味噌4点セット他)

【ECサイト掲載】 31事業者/51商品

○通販サイト「オンワード・マルシェ」

【ECサイト掲載】 4事業者/12商品

注目! ○「おいしく食べて美しくなるプロジェクト」の推進

美容に関する知見の高い専門家の協力のもと、食材の持つ美容に関する機能性の研究・調査を行うとともに、美容という切り口で魅力を発信

- ・美と食材をテーマにSNSやWebを使った情報発信
- ・美容メーカーや大手食品企業等とのタイアップによる共同開発商品の開発
- ・「ダイエット&ビューティーフェア2021」へのブース出展およびセミナーの開催
- ・機能性ガイド「美容版」の作成及び各種メディアやイベント等での配布
- ・和歌山大学と協働で県産かきの美容に係る機能性の検証
- ・有名外食店とタイアップし「和歌山の食材で美しくなるフェア」の開催



Cosme Kitchen Adaptation



美ST12月号 タイアップ誌面、取材風景



「ダイエット&ビューティーフェア2020」

'20実績

- 「Cosme Kitchen Adaptation (コスメキッチンアダプテーション)」にて、県産梅を使用した期間限定メニューを提供。(2020. 7. 20~9. 30)
- 「第19回ダイエット&ビューティーフェア2020」への和歌山県ブースの出展及び元ミス・ユニバース・ジャパン公式栄養コンサルタントのエリカ・アンギアルを講師として「和歌山県の機能性食材セミナー」を開催。(2020. 9. 15~17)
- 光文社発行の雑誌「美ST」12月号(10月17日発売)にて、県産かきの魅力発信をテーマにしたタイアップ記事を掲載。

○国内で開催されるビックイベントへの県産品の提案やPR

「東京オリンピック・パラリンピック」、「紀の国わかやま文化祭2021」での県産食材の販売・PRや提供に向けた準備

○ソーシャルメディアを活用した県産品の魅力発信

- ・Instagramで「おいしい!健康わかやま」フォトコンテストを開催し、写真投稿を通じて新たな県産品のファンを獲得
- ・拡散効果が期待できる「高い話題性」や「高いエンタメ性」のある県産品情報をソーシャルメディアで発信
- ・和歌山県ゆかりの方々の協力による、YouTubeやInstagram等を活用した県産品の魅力発信



中島由貴氏×毬姫様



田村響華氏×梅干し



田中理恵氏×梅干し



本谷紗己氏×あら川の桃

'20実績

- SNSで「おいしい!健康わかやま」を情報発信(2021. 3. 31現在)
フォロワー数: Facebook 1,245人、Instagram 4,718人、Twitter 3,463人、YouTube 624人(総再生回数 154,026回)
- 「おいしい!健康わかやま」フォトコンテスト(2021. 2. 22~3. 15)(投稿数 521件)
- 新型コロナウイルス感染症により不要不急の外出を控える生活が続く中、自宅で和歌山のおいしいものを食べて楽しく過ごせるよう特設サイト「おうちで和歌山」を開設。サイト内で、和歌山ゆかりの方からの応援メッセージ、すっぱい動画、食材のチカラ、おうちでクッキング、おうちでエクササイズ、わかやま製品の魅力を紹介。

4.生産者等の商品力・販売力強化

魅力ある商品づくりやブランド化を目指し、専門家を派遣して商品のブラッシュアップと衛生管理の徹底を図るとともに、輸出先国のニーズに対応した施設整備を支援し、商品力・販売力を向上

（国内の主な取組）

○売れる商品の開発・改良等に向けた専門家派遣（募集：5～6月、実施：8月～）

- ・アドバイザー（新商品開発、流通・販売促進、デザイン等の専門家）の派遣
- ・工業技術センター「フードプロセッシングラボ」を活用した新商品づくりを支援
- ・食品流通課内に「新商品開発相談窓口」を設置し、関係機関の協力のもと事業者をサポート



フードプロセッシングラボ
（工業技術センター）

注目! ○販売カススキルアップセミナーの開催（募集：9月～10月、実施：11月）

大手卸会社カリスマバイヤーによる「販路拡大を図るテクニック」等のセミナーを開催



○百貨店バイヤーによるセミナーの開催（募集：10月～11月、実施：12月）

百貨店バイヤーによる「商談会で有利に商談するために」等のセミナーを開催

○新食品流通基準対応支援セミナーの開催（募集：6月末～7月末、実施：8月～）

- ・国内の大手流通業や海外に向けた販路を考えている意欲的な事業者を対象としたHACCP導入のための実践研修
- ・HACCPコーディネーターによる現地指導
- ・「HACCPに基づく衛生管理」導入に向けたセミナーの開催



コーディネーターの現地指導

'20実績

- 販路拡大に向けた個別指導
 - ・アドバイザーの派遣 3事業者
- HACCP導入を検討している事業者向けに「新食品流通基準対応セミナー」を開催
 - ・受講者30事業者にオンラインで開催 各5回（8月、9月、10月、1月、2月）
 - ・現地指導 事業者毎に各1回（11月～1月）
 - ・「HACCPに基づく衛生管理」導入のための実践講座（2021.3.26）

注目! ○eコマース導入に向けた支援（募集：5月～）〈2ページ再掲〉

インターネット販売を始めたい、インターネット販売での売上を伸ばしたい事業者に対して、ECサイトの作成や運営に係る専門家派遣及びeコマースに関するセミナーを開催

注目! ○Web用販売促進ツール等作成への補助（募集：4月～）〈2ページ再掲〉

農林漁業者等を対象に、①商品PR動画、②商品写真撮影、③Webページ作成及びリニューアル、④外国語翻訳業務、⑤SNSツール活用などの取組を支援
【上限額】：50万円【補助率】1/2



（海外の主な取組）

○グローバル産地づくりの推進

- ・輸出先のニーズや規制等に対応したグローバル産地の形成を進めるため、計画策定、生産・加工体制の構築、事業効果の検証・改善などの取組を支援（国庫補助事業）

'20実績

- ・GFPグローバル産地づくり推進事業採択産地 1件

○輸出向けHACCP等対応施設整備の支援

- ・輸出先国のニーズに対応した製品製造やHACCP等の認証取得に必要な規格を満たすため、食品製造事業者等の施設の新設・改修や機器の整備を支援（国庫補助事業）



金属探知機



エアシャワー



大型冷蔵庫

'20実績

- ・食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備 採択数 3件
- ・輸出先国の市場変化に対応した食品等の製造施設等整備 採択数 5件

○農産物の生産体制等の強化（県関係課室・研究機関等が連携）

- ・輸出向け農産物を確保・増産するため、輸出園地や輸出専用施設の整備等を支援
- ・民間企業や県試験研究機関等と連携し、長期輸送を可能とする鮮度保持技術の確立に向けた研究を推進
- ・海外の残留農薬基準に対応した病害虫防除暦例を策定

'20実績

- ・農林水産業競争力アップ技術開発 研究テーマ（令和2～4年度実施）
 〈かき・もも研究所〉かきの輸出および簡易貯蔵を可能とする鮮度保持技術の開発
 〈うめ研究所〉海外向けうめ果実の流通技術の開発
- ・民間企業とのかき輸出における鮮度保持技術の研究・試験を実施

○食品輸出セミナーの開催

- ・JETRO等との共催によるセミナーの開催
 【開催時期】5月頃～（年間5回程度）
 【開催場所】和歌山県内
- ・関西広域連合「食品輸出セミナー」の開催
 【開催時期】2月頃 【開催場所】未定



ベトナム向け食品輸出セミナーの様子

'20実績

- ・JETRO和歌山、(公財)わかやま産業振興財団等と共催でセミナーを開催
 「コロナ後の中華圏市場開拓に向けて」（2020.6.17 Web開催）
 「貿易実務講座・基礎編」（2020.7.14 リアル開催）
 「貿易実務講座・実践編」（2020.8.21 リアル・Web開催）
 「食品関連 日EU・EPA活用促進オンラインセミナー」（2020.12.3 Web開催）
- ・JETRO和歌山と共催でセミナーを開催
 「ベトナム向け食品輸出セミナー」（2020.9.9 リアル開催）
- ・関西広域連合「食品輸出セミナー」（2021.1.25 Web開催）

Ⅱ. 海外市場の販路開拓強化

我が国の食市場は、人口減少を起因とした縮小傾向にある一方で、海外においては、新興国の経済成長や人口増加に伴い、市場規模は2015年の890兆円から2030年には1,360兆円の1.5倍に拡大すると見込まれています。

政府では、「食料・農業・農村基本計画」（令和2年3月閣議決定）等において、農林水産物・食品の輸出額の目標を2025年に2兆円、2030年に5兆円と設定し、「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」を決定して、①日本の強みを最大限に活かす品目別の具体的目標を設定、②マーケットインの発想で輸出にチャレンジする農林水産事業者を後押し、③省庁の垣根を超え政府一体として輸出の障害を克服する、としています。

本県においても、農水産業者の所得向上を図り、農水産業及び食品産業の持続的発展に向け、本県が優位性を有する品目についてターゲット国・地域を定め、戦略的に輸出拡大に取り組んでいるところであり、直近3年間で約2倍に輸出額が増加しています。（和歌山県農水産物・加工食品輸出促進協議会調べ）

海外への販路開拓で重要となる大型見本市等については、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を見極めながら、和歌山県ブースの出展を模索するほか、海外バイヤーとのWeb商談や国内輸出商社との商談など、積極的に商談機会を提供いたします。
【商談機会の充実】

また本年度は、「和歌山梅酒」が昨年9月に酒類の地理的表示（GI）の指定を受けたことを契機に、日・EU経済連携協定でGIの相互保護関係にあるフランスでのブランド化を推進するとともに、近年、輸出額の増加率が最も著しいベトナムへの食品輸出ミッション団の派遣等を行います。
【戦略的マーケティング】

加えて輸出にあたっては、販路開拓だけでなく、輸出先国の規制や輸出のための生産基盤の整備等が大きな課題となります。そのため、国はもちろんのこと、日本貿易振興機構や香港貿易発展局等の関係機関との連携を強化するとともに、輸出証明書の発行など、輸出拡大に向けた環境を整備します。
【輸出環境の整備】



Attention!

1. 海外見本市出展等による商談機会の充実

商談機会の充実【輸出】

県内事業者が、国内外で輸出の商談ができる機会を提供
(主な取組)

○ 海外展示商談会への出展

- ・ 第4回中国国際輸入博覧会
【開催期間】 11月5日(金)～10日(水)
【開催場所】 国家会展中心(上海)
- ・ Wine Paris & Vinexpo Paris 2022
【開催期間】 2月14日(月)～16日(水)
【開催場所】 Paris Expo Porte de Versailles (パリ)
- ・ FHA-Food and Beverage 2022
【開催期間】 3月28日(月)～31日(木)
【開催場所】 Singapore Expo (シンガポール)



第3回中国国際輸入博覧会

注目!

注目!

- 海外バイヤーとの事前マッチング形式のWeb商談会の開催<4ページ再掲>
FOOD TAIPEI (6月)、香港Food Expo (8月)、THAIFEX (9月) への出展の可能性を探りながら、海外バイヤーとのWeb商談会を実施
【参加バイヤー】 台湾、香港、タイなど
【実施時期】 6～9月頃

'20実績

- ・ 第3回中国国際輸入博覧会 (Web商談)
【開催期間】 2020. 11. 5～11. 10 【県内事業者】 4社

○ 沖縄大交易会への出展

- ・ 海外バイヤーが多数参加する日本最大級の事前アポイント型個別商談会
【開催期間】 11月頃 【開催場所】 沖縄県内

'20実績

- 【開催日】 2020. 10～2021. 2 (Web商談) 【県内事業者】 3社

○ 輸出商社との商談会

- ・ 輸出に携わる国内商社を招へいし、事前マッチング形式の個別商談会を2回開催
【開催時期】 9月・2月頃 【開催場所】 和歌山県内

'20実績

- 【開催日】 2020. 10. 1～2 【参加者】 輸出商社2社、県内事業者12社
- 【開催日】 2021. 2. 25 (Web商談) 【参加者】 輸出商社4社、県内事業者11社

○ 海外バイヤーとのWeb商談会<4ページ参照>

- ・ 「和歌山フェア」開催のためのWeb商談会
【商談相手国・地域】 台湾、マレーシア、米国
- ・ 「レストランフェア」開催のためのWeb商談会
【商談相手国・地域】 マカオ、香港



マカオレストランシェフとのWeb商談会

注目!

○ Web用商談ツールの充実<4ページ再掲>

- ポータルサイト「おいしく食べて和歌山モール」内に外国語版県産品ページを作成し、輸出に取り組む意欲のある県内事業者の商品を海外バイヤー等に提案
【掲載言語】 英語・中国語

Attention!

2. 海外における和歌山プロモーション

戦略的マーケティング【輸出】

海外において、魅力ある県産品の認知度向上及び輸出拡大を目指し、果実・加工食品フェアやレストランフェアの開催、関係機関と連携した食品輸出ミッションなど各種プロモーションを実施

(主な取組)

注目! OG | 和歌山梅酒プロモーションの推進

県産梅酒が酒類の地理的表示（GI）の指定（2020.9.7）を受けたことを契機に、GI和歌山梅酒管理委員会とともに、日・EU経済連携協定によりGIの相互保護の関係にある欧州（フランス）でのブランド化を推進

<和歌山梅酒プロモーション in フランス>

シェフ、ソムリエ、メディア、バイヤー等を招待し、和歌山梅酒魅力発信イベントをパリで開催

【開催時期】10月頃

- ・和歌山梅酒のテロワール動画放映（GI・世界農業遺産）
- ・欧州の日本人有名シェフ等をアンバサダーに任命
- ・有名ソムリエによる梅酒プレゼンテーション
- ・ミシュランシェフによる梅酒と料理のペアリング など



認証ロゴマーク

<欧州の主要酒類見本市への出展>

ワイン・アルコール飲料の専門見本市

「Wine Paris & Vinexpo Paris 2022」<10ページ再掲>

【開催期間】2月14日（月）～16日（水）

【開催場所】Paris Expo Porte de Versailles（パリ）



Wine Paris

注目! ○ベトナム食品輸出ミッション団の派遣

近年、農林水産物・食品の輸出額の増加率が最も著しいベトナムへの販路開拓を目指し、食品ミッション団を派遣

【訪問都市】ホーチミン市 他

【訪問時期】11月頃

【内 容】商談会、レストランイベント、現地展示会視察、市場調査



'20実績

- ベトナム向け食品輸出セミナーの開催（2020.9.9）
- 「和歌山フェア」開催のための商談会（2020.10.21～23）
- ベトナム輸入商社及び輸出商社（各2社）とのマッチング商談会
(2020.11.24 (Web商談))
- ベトナム・ホーチミンの高級百貨店で和歌山フェア開催（2021.2.1～7）
- ベトナム・ホーチミンの食品バイヤーとのオンライン商談会
(2021.3.10～12 (Web商談))

○高級スーパーや百貨店での店頭販促等の実施

＜果実フェア＞

- ・米国（かき） 【開催時期】 10月頃
- ・シンガポール（かき） 【開催時期】 10月頃
- ・シンガポール（みかん） 【開催時期】 12月頃
- ・マレーシア（みかん） 【開催時期】 1月頃
- ・香港（まりひめ） 【開催時期】 2月頃 など



香港でのまりひめフェア

＜加工食品を中心とした和歌山フェア＞

- ・台湾 【開催時期】 9月頃
- ・マレーシア 【開催時期】 1月頃
- ・米国 【開催時期】 3月頃



台湾での和歌山フェア

'20実績

○加工食品を中心とした和歌山フェアの開催

- ・台湾・台北の高級スーパーで和歌山フェア（2020.9）
- ・ベトナム・ホーチミンの高級百貨店で和歌山フェア（2021.2）
- ・マレーシア・クアラルンプールの高級スーパーで和歌山フェア（2021.3）
- ・米国・ロサンゼルス日系スーパーで和歌山フェア（2021.3）

○和歌山県産果実フェアの開催

- ・[かき]米国・ロサンゼルス日系スーパーにて店頭販促、ネット通販での販売（2020.10～11）
- ・[かき・みかん]香港の高級スーパー等にて店頭販促（2020.10～11）
- ・[いちご(まりひめ)]贈答需要が高まる旧正月前に、香港の高級百貨店等にて店頭販促（2021.1～2）

注目! ○海外高級飲食店での県産食材を使用した「和歌山フェア」の開催

- ・マカオの高級レストラン
【開催時期】 10月頃
- ・マカオの高級日本食料理店
【開催時期】 11月頃
- ・香港の高級日本食料理店
【開催時期】 1月頃



レストランフェアのイメージ

○新規市場の開拓

- ・ベトナム向け温州みかんの輸出解禁などの二国間協議の動向を注視しながら、JAグループ等関係機関とともに輸出に向けた準備を加速
- ・今後更なる成長が見込まれる国や地域（UAE等）における現地のニーズや商流を把握

○欧州における現地コーディネーターの活用

食品業界に幅広い人脈を持つ現地コーディネーターを活用し、山椒や梅酒など本県に優位性のある農産物の加工品を中心に、高級販路への働きかけを強化

'20実績

- ・渡航が制限される中、現地コーディネーターが継続して欧州の有力バイヤーへ働きかけを行った結果、酒類や調味料等の県産品の取扱が拡大
- ・欧州への輸出に取り組む県内事業者とのWeb相談会を開催（2020.11.10）

3.輸出拡大に向けた環境整備

日本貿易振興機構(JETRO)、MOUを締結している香港貿易発展局等の関係機関との連携を強化するとともに、パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス(PPIH)との包括連携協定の活用等による輸出拡大に向けた環境整備

(主な取組)

○政府の輸出促進政策との連携

国が輸出促進政策として実施する施設整備や販路開拓の支援策を活用するとともに、国の輸出戦略等に産地の意見を反映

○JETRO和歌山と連携した取組

- ・海外バイヤーとのWeb商談会<4ページ参照>
- ・JAPAN STREET事業、JAPAN MALL事業<4ページ参照>
- ・食品輸出セミナー<8ページ参照>
- ・GI和歌山梅酒プロモーション<11ページ参照>
- ・ベトナム食品輸出ミッション<11ページ参照>



Web商談会の様子

○MOU締結を活用した商談機会等の創出

※MOU: 行政機関等の組織間の合意事項を記した文書

- ・香港貿易発展局(2013.7.5締結)
- ・ベトナム農業農村開発省(2015.3.11締結)、商工省(2018.10.8締結)
- ・タイ王国商務省(2019.5.28締結)

○PPIHとの包括連携協定(2021.3.17締結)を活用した商談機会等の創出

○輸出証明書の発行

- ・台湾向け輸出に関して県内で生産・加工されたことを証明する原産地証明書の発行
- ・タイ向け輸出青果物の選果・梱包施設に係る衛生管理の認証・証明書の発行

'20実績

- ・原産地証明書の発行 台湾向け 20件
- ・タイ向け輸出青果物の選果・梱包施設の認証 1件

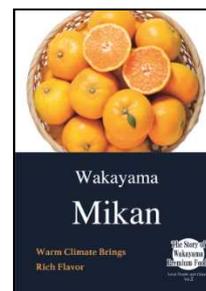
○県産品やテロワール、機能性パンフレットの作成

- ・県産品を紹介する「和歌山の食」やテロワールリーフレットなどの外国語版を作成し、海外でも本県産の魅力をPR

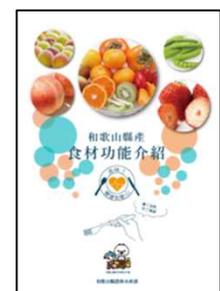
※テロワール: フランス語で生育地の地理、地勢、気候、こだわりの栽培法や確かな技術により栽培される農作物の生育環境を指す



和歌山の食
(フランス語・ベトナム語)



テロワール(英語)



和歌山県産食材機能性ガイド(繁体字)

○輸出用ロゴマークの活用及び商標監視

- ・和歌山ブランドの海外での認知度向上を目指し、輸出用ロゴマークを制定
海外プロモーションでの活用のため、中国、香港、台湾、マレーシア、シンガポール、タイで商標登録
- ・「和歌山」「紀州」の不正な商標出願・登録を監視
監視対象地域: 中国・香港・台湾



'20実績

- ・監視による検出数(類似含む) 965件

○インポートトレランス申請の促進

輸出先国で残留基準が設定されていない農薬は使用できないため、輸出先国において基準値を設定するために必要な申請を促進

Ⅲ. 国内市場の販売促進強化

「食の宝庫」和歌山県では、加工品を含め多くの魅力ある製品とそれらを生み出すストーリーに溢れています。これらの県産品を携えて出展する対面式の展示商談会は、県産品の魅力を首都圏等のバイヤーへ効果的に訴求できることから、十分な感染症対策を講じたうえで、大型展示商談会等への出展や商談会の開催に引き続き取り組み、商談機会を提供してまいります。一方、商談会が一部オンラインに移行するなど、デジタルシフトが加速しつつあることから、Webを活用し「時間」や「場所」にとらわれない様々な商談機会の提供にも積極的に取り組みます。

【商談機会の充実】

県産食材の機能性や品質の高さを、高級百貨店や老舗果物専門店等での利用促進を図ることでブランディングを進めるとともに、安全・安心を基本に“和歌山らしさ”“和歌山ならではの”の視点で推奨する「プレミアム和歌山」、衛生管理が行き届いた「わかやまジビエ」など特筆すべき商品分野の販売促進を行います。

またテレワークの普及等により人々の生活様式が変化する中、新たに大都市周辺地域等のマーケットにも注目し、県産品の販路の拡大に努めます。

【戦略的マーケティング】

免疫力といった健康意識の高まりや楽ごもり需要の増大を踏まえ、「おいしい！健康わかやま」、「おいしく食べて美しくなる」をキーワードとして、県産品情報をSNSやマスメディアで積極的に発信するとともに、昨年9月に指定を受けた「GI 和歌山梅酒」等の県産酒類の魅力を各種イベント等でPRしていきます。

【魅力の発信】



Attention!

1.大型展示商談会への出展

商談機会の充実

新たな販路開拓や販路の拡大を支援するため、国内外の食品関係事業者やバイヤーが集結する大型展示商談会へ「おいしい！健康わかやま」をコンセプトとしたブースを出展

(主な取組)

○第20回ダイエット&ビューティーフェア2021

美と健康をテーマに、様々な美容・健康業界のバイヤーが集結する展示商談会

【開催期間】9月13日(月)～15日(水)

【開催場所】東京ビッグサイト 青海展示棟

【募集者数】6事業者(予定)

【募集時期】4月頃



ダイエット&ビューティーフェア2020

'20実績

【開催期間】2020.9.15～17 【開催場所】東京ビッグサイト 青海展示棟

【来場者数】12,805人 【出展者数】6事業者

○全国 食の逸品EXPO

全国から地域性豊かな食材・飲料が、一堂に集結する商談展示会(同時開催:外食ビジネスウィーク2021)

【開催期間】10月7日(木)～8日(金)

【開催場所】東京ビッグサイト 青海展示棟

【募集者数】13事業者(予定)

【募集時期】4月頃



全国 食の逸品EXPO(2020)

'20実績

【開催期間】2020.9.24～25 【開催場所】東京ビッグサイト 青海展示棟

【来場者数】16,014人 【出展者数】13事業者

注目! ○第56回 スーパーマーケット・トレードショー2022

スーパーマーケットを中心とする流通業界に最新情報を発信する商談展示会

【開催期間】2月16日(水)～18日(金)

【開催場所】幕張メッセ

【募集者数】18事業者(予定)

【募集時期】6月頃



スーパーマーケット・トレードショー2020

'20実績

【開催期間】2021.2.17～19 【開催場所】幕張メッセ 【来場者数】26,385人

※新型コロナウイルス感染防止のため、和歌山県ブースの出展は中止。

注目! ○第47回 FOOD EX JAPAN 2022

国内外の食品関係事業者やバイヤー等が参加するアジア最大級の国際食品・飲料専門展示商談会

【開催期間】3月8日(火)～11日(金)

【開催場所】幕張メッセ

【募集者数】18事業者(予定)

【募集時期】6月頃



FOOD EX JAPAN 2021

'20実績

【開催期間】2021.3.9～12 【開催場所】幕張メッセ

【来場者数】25,754人 【出展者数】17事業者



2.食品卸・商社等主催商談会への出展

プレミアム和歌山など特色ある県産品の販路開拓に向け、大手食品卸・商社等が主催する展示商談会や通販食品展示商談会へ出展（※プレミアム和歌山認定事業者を対象）
（主な取組）

○三井食品フードショー2021

全国の三井食品株式会社の客先企業等に対し、試食・試飲等を行い、プレミアム和歌山等の商品をPR

【開催期間】6月16日～17日の2日間

【開催場所】パシフィコ横浜

【募集者数】5事業者（予定） 【募集時期】4月頃

※2020年は中止



三井食品フードショー2019

○国分西日本展示商談会

関西圏中心の国分西日本株式会社の客先企業等に対し、試食・試飲等を行い、プレミアム和歌山等の商品をPR

【開催期間】7月頃の1日間

【開催場所】帝国ホテル大阪

【募集者数】4事業者（予定） 【募集時期】5月頃



国分西日本 春季WEB展示会

'20実績

【開催期間】2021. 1. 26～2021. 3. 31

【開催場所】オンライン開催

【出展者数】7事業者

○加藤産業新製品発表会

全国から集まる加藤産業株式会社の客先企業等に対し、試食・試飲等を行い、プレミアム和歌山等の商品をPR

【開催期間】7月上旬の2日間・1月中旬の2日間

【開催場所】神戸国際展示場

【募集者数】3事業者（予定） 【募集時期】5月頃

'20実績

5事業者（予定）

11月頃

【開催期間】2021. 1. 14～2021. 5末（予定）

【開催場所】オンライン開催

【出展者数】11事業者



KATO VIRTUAL EXPO
～新製品提案Webサイト～

○第11回通販食品展示商談会

通販・宅配食品業に特化した、日本で唯一の展示商談会

【開催期間】9月30日（木）～10月1日（金）

【開催場所】東京交通会館12階

【募集者数】10事業者（予定） 【募集時期】5月頃

'20実績

【開催期間】2020. 12. 1～2

【開催場所】東京交通会館12階

【出展者数】6事業者



第10回通販食品展示商談会

○三井食品関西メニュー提案会

関西圏中心の三井食品株式会社の客先企業等に対し、試食・試飲等を行い、プレミアム和歌山等の商品をPR

【開催期間】2月頃の1日間

【開催場所】大阪マーチャングイズマート

【募集者数】4事業者（予定） 【募集時期】12月頃

※2020年は中止



三井食品関西メニュー提案会2019

Attention!

3. 県主催産品商談会の開催

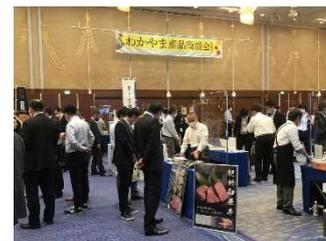
○わかやま産品商談会 in 和歌山

農水産物や新しく開発した加工食品の紹介など、主として県内での販路拡大や地産地消の推進を目的に開催

【開催時期】 9月頃

【開催場所】 ホテルアバローム紀の国

【募集時期】 4月中旬～5月初旬頃



わかやま産品商談会in和歌山

'20 実績

【開催日】 2020.11.19

【開催場所】 ホテルアバローム紀の国

【来場者数】 200人

【出展者数】 47社（団体）（うち新規事業者22社）

注目! ○県産品マッチング商談会の開催

招へいする食品卸、小売等のバイヤーが求める商品と県内事業者の求める売り先を事前にヒアリングしたマッチング形式の商談会を開催するとともに、事業者の製造現場等へ案内

【開催時期】 9月頃

【開催場所】 和歌山県内

【参加バイヤー】 食品卸、小売(百貨店、スーパー等)、通販、
外食バイヤー 10～15社程度

【募集者数】 30社（予定）

【募集時期】 6月頃



商談会



現地視察

'20 実績

【開催日】 2020.10.8～9

【開催場所】 SHIRAHAMA KEY TERRACE HOTEL SEAMORE

【参加バイヤー】 卸、小売、外食バイヤー 14社

【参加者数・商談数】 県内事業者31社、110商談

注目! ○わかやま産品商談会 in 大阪

新規出展者や新商品の掘り起こしを行い、関西の食品バイヤー等に「わかやま産品」の魅力を紹介し、県内事業者の関西での販路開拓を支援

【開催時期】 1月頃

【開催場所】 大阪マーチャンダイズ・マート

【来場企業】 卸売・流通業、小売業、外食業、
食品メーカー等約600人

【出展者数】 80社（予定）

【募集時期】 7月頃



わかやま産品商談会in大阪



わかやま産品商談会in大阪「Web版」

'20 実績

○Web版「わかやま産品商談会個別商談会」

【開催日】 2021.2.3 【出展者数】 13社（事前マッチング形式）

【開催日】 2021.2.4～12 【出展者数】 80社

Attention!

4.個別商談機会の提供

商談機会の充実

ミシュラン星付きレストランなどの世界的に有名なシェフ、有名外食事業者、有名百貨店、こだわりのあるセレクトショップのバイヤー等を生産現場に招き、魅力ある県産品を提案するとともに、Web商談会等を随時開催

(主な取組)

注目! 〇魅力ある生産現場への招へい等による商談

- ・ 外食関係者、シェフ等の食材調達キーパーソンを招へいし、県産品の魅力を発信
- ・ 大手食品卸、有名百貨店、スーパーマーケット及びセレクトショップ等のバイヤーを招いた個別商談会の開催
- ・ 影響力のある料理専門誌の編集者やインフルエンサー等を招へいし県産品のPR



料理専門誌による取材



シェフの产地視察



メーカーの产地視察



コンビニ商品開発担当者の工場視察

'20実績

- 〇(株)バルニバービのバイヤー (2020. 6. 23)
- 〇(株)プレミアムキッチンの商品開発担当者 (2020. 9. 24)
- 〇BVLGARI IL RISTORANTEのゆ・ファンティシェフ、LA CIMEの高田シェフ (2020. 10. 13~14)
- 〇国分本社商品開発担当者 (2020. 11. 12)
- 〇レフェルヴェルソの広瀬ハットシェフ、メツゲライクスタの楠田シェフ、LA CASA DI Tetsuo Otaの太田シェフ、萌菓の西尾ハティエ、Ensoleilléの杉江ハティエ (2020. 11. 16)

注目! 〇Web商談の拡充<3ページ参照>

- ・ 大手卸やスーパーマーケット等の小売、通販事業者等とのWebを活用した商談の実施
- ・ 関西広域連合として関西の食が一堂に会するWeb商談会を開催 【実施時期】11月頃
- ・ 県産品カタログ・県産中間加工食品カタログでの新たな検索機能とWeb商談機能の追加
- ・ 「わかやま紀州館」を活用したWebによる商談機会の提供



小売バイヤーとのWeb商談



県産品カタログ



県産中間加工食品カタログ

Attention!

5. 県産品ブランディングセールス

戦略的マーケティング

県産食材の機能性や品質の高さを高級百貨店、老舗果物専門店、外食店等での利用促進を図ることで、知名度とブランド力を向上

(主な取組)

○老舗果物専門店とコラボした県産果実のPR

- ・ 県産果実の販売や県産果実を使用した商品の開発
- ・ 新宿高野「フルーティーライフ教室」での県産果実の魅力発信
- ・ 新宿高野での「紀州てまり」のブランドPR



新宿高野

○外食産業等への食材提案のアプローチ

- ・ 銀座料理飲食業組合連合会等への県産農水産物の提案
- ・ 有名ホテル、レストラン等で和歌山フェアの開催
- ・ 外食関係者、有名シェフの招へいによる食材の魅力発信
- ・ 「資生堂パーラー」等の高級外食店への食材提案



資生堂パーラー銀座本店

注目! ○「おいしく食べて美しくなるプロジェクト」の推進<6、24ページ参照>

- ・ 美容メーカーや大手食品企業等とのタイアップ商品のPR
- ・ 和歌山大学との協働によるかきの機能性の検証
- ・ 機能性ガイド「美容版」の作成



機能性ガイド「美容版」

○県産食材のもつ機能性の発信

- ・ 機能性セミナーの開催や料理・栄養関係の専門誌への掲載
- ・ 女子栄養大学等とのタイアップ事業の実施
- ・ 機能性ガイドによる和歌山県産食材のPR

○県産食材のテロワール（生産地の気候、風土、ストーリー）による魅力発信

- ・ 品目別テロワール冊子の作成
- ・ 「わかやま食材テロワール」メールマガジンの発行
- ・ テロワール動画による県産食材の魅力発信
- ・ 料理レシピサイトでの特産品や郷土料理情報の発信



テロワール冊子

○県オリジナル品種等の魅力発信

- ・ 県が育成した農産物の新品種や今後首都圏を中心に販売シェアを獲得したい品目について、重点的にプロモーションを展開



紀州てまり



まりひめ



紀州うすい



びんちょうまぐろ



鮎

'20 実績

- 阪急うめだ本店(もも)、三越日本橋本店(かき)、三越銀座店・伊勢丹新宿店・クイーンズ伊勢丹(かき・みかん)におけるフェアの開催(2020. 10. 21~11. 24)
- 新宿高野とコラボしたPRイベントの開催(もも、まりひめ、かき)
- 資生堂パーラー、カフェコムサで県産果実を使用したスイーツの販売
- 銀座料理飲食業組合連合会での県産食材フェアを実施
(びんちょうまぐろ: 2021. 2. 4~10、紀州うすい: 2021. 3. 1~7)

6.有名百貨店等での販売促進

県産品の魅力発信及びブランド力の向上を図るため、有名百貨店とタイアップした効果的なPRや販売促進活動を展開するとともに、ターゲットとするマーケットを拡大

(主な取組)

○県とJAグループで構成する「和歌山ブランド向上対策推進会議」を主体として、県産農産物のブランドイメージ定着に向けた効果的なPRを展開

- ・首都圏高級百貨店（三越日本橋本店、三越銀座店、伊勢丹新宿店等）とタイアップした「和歌山フェア」の開催
- ・首都圏有名百貨店の発信力を活用した新品種のPR
- ・首都圏等での県産農産物の高品質・高級イメージを押し出したPRイベントの開催



新品種「紀州てまり」の首都圏出荷PR販売(伊勢丹新宿店)



高級百貨店での県産果実の販売
ハロウィンパッケージ(三越日本橋本店)



みかん・柿の販売コーナー(三越銀座店)

'20実績

No	会期（百貨店和歌山フェア）	県産農産物	会場
1	2020. 7. 8～2020. 7. 14	もも	阪急うめだ本店
2	2020. 10. 21～2020. 10. 27	かき(たねなし)	三越日本橋本店
3	2020. 10. 28～2020. 11. 3	新品種甘柿(紀州てまり)	伊勢丹新宿店
4	2020. 11. 18～2020. 11. 24	みかん、かき(紀の川柿、富有柿等)	三越銀座店、伊勢丹新宿店

○有名百貨店での食品催事等の開催

- ・首都圏や大都市の有名百貨店における食品催事の開催
京王百貨店「三重・和歌山・愛知の物産展」
【開催日】5月13日～18日
【開催場所】京王百貨店新宿店7階大催場
【出展者数】10社程度
- ・近隣県と連携した物産展の開催
- ・有名百貨店への県産品の提案やバイヤーの産地招へい



山形屋「第9回 三重・和歌山・奈良の物産展」
(2020.2.19～25)

注目! ○ターゲットとするマーケットの拡大<3ページ再掲>

- ・神奈川や千葉等、大都市周辺地域や福岡や新潟等、地方の都市部の百貨店や高級スーパー等での販路開拓や拡大を強化



千葉県のスーパーでの「和歌山フェア」

Attention!

7.わかやま紀州館を活用した販路開拓

東京都有楽町に設置する県アンテナショップ「わかやま紀州館」を活用した販路の開拓支援と首都圏で県産品の魅力をPR

(主な取組)

注目! ○商談拠点としての「わかやま紀州館」機能強化<3ページ再掲>

- ・「わかやま紀州館」をショールームとして、首都圏のバイヤーが商品を手に取り、その場で県内事業者とWeb等により商談をできるなど、首都圏の商談拠点として活用



わかやま紀州館店頭

○「わかやま紀州館」での県産品の販売・PR

- ・テストマーケティング販売（3カ月間）の実施
- ・県内事業者への店頭販売スペースの提供
- ・店頭での特集コーナー設置による旬の商品紹介
- ・マスコミへの取材協力を通じた県産品の機能性をPR
- ・ふるさと広報局長等を活用した誘客イベントの開催



わかやま紀州館店頭販売の様子

○わかやま紀州館オンラインショップでの販売

- ・多様なお客様ニーズに対応するため、紀州館で販売する商品をオンラインショップでも販売



紀州館オンラインショップ

○店舗外での県産品のPRや販売

- ・首都圏での発信力の高いイベントへの出店

○「わかやま紀州館mini」を活用した県産品の販売・PR

- ・県外で県産品を販売するスペースを有する店舗（「わかやま紀州館mini」）の全国展開を加速

(店舗情報)

【わかやま紀州館】

- 場所 東京都千代田区有楽町2-10-1
- 営業時間 10:00~19:00 (日曜・祝日は10:00~18:00)
- 店舗連絡先 03-6269-9434 (物産)

【わかやま紀州館mini】

- 全国28店舗 (2021.3.31時点)
- (東北1、関東11、北陸1、中部3、近畿6、中国4、九州2)



わかやま紀州館mini 1号店 (クレイン大阪) の様子

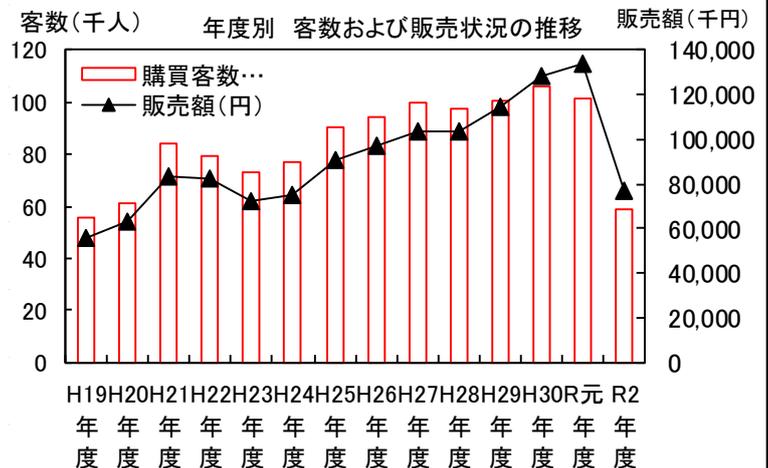
'20実績

○わかやま紀州館(有楽町店)
(2021.3.31現在)

- 【購買者数】59,181名
(対前年度 58.6%)
- 【売上】7,692万円
(対前年度 57.7%)
- 【出品事業者数】201社
- 【出品アイテム数】717点
(休業46日間、時間短縮営業29日間)

○出前紀州館

- 「よい仕事おこしフェア」への出店
- 【日時】2020.11.5~6
- 【場所】羽田イノベーションシティ



8.プレミアム和歌山のストーリー展開

首都圏でのPRイベントの開催、大手食品卸主催の展示商談会への出展、物産店舗・百貨店・高級スーパー等への出店及び多様な流通ツールの活用により、プレミアム和歌山の認知拡大及び販売促進を展開



※プレミアム和歌山とは

- ①和歌山県内で生産・製造されたもの
 - ②安心・安全を重視したもの
 - ③和歌山らしさ・和歌山ならではのもの
- これらの観点から、優良な県産品を選定・推奨する制度



令和2年度審査員特別賞
《紀州和華牛》

(主な取組)

○物産店舗等出店

- ・首都圏等の鉄道駅構内や百貨店、高級スーパーなどで一般消費者向けにプレミアム和歌山の展示・販売を行うブースを出店



物産店舗出店
(阪急大阪梅田駅構内)

○大手卸主催展示・商談会に和歌山県ブースを出展<16ページ参照>

- ・三井食品フードショー2021
- ・加藤産業新製品発表会
- ・国分西日本展示商談会

○プレミアム和歌山PRイベントでの販売促進

- ・ホテル椿山荘におけるPRイベントにバイヤーを招へいし、商談会を開催



PRイベント(椿山荘)
(2019の様子)

○オンラインお土産サービス(みやげっとdeプレミアム和歌山)

- ・ホテル等に設置する専用POPのQRコードを読み取り、メールやLINE等でプレミアム和歌山認定商品を簡単に贈れるサービスを活用し、更なる購入機会を創出



みやげっとdeプレミアム和歌山

○第11回通販食品展示商談会への出展<16ページ参照>

○通販番組や通販サイト等の活用<5ページ参照>

'20実績

- ディアモール大阪「プレミアム和歌山フェア」開催
【開催期間】2020.9.17~18 【開催場所】ディアモール大阪
- わかやま紀州館阪急梅田店出店
【開催期間】2020.10.15~27 【開催場所】阪急大阪梅田駅2階
- わかやま紀州館阪神梅田店出店
【開催期間】2020.10.29~11.10 【開催場所】阪神大阪梅田駅地下
- (株)エース・(株)北野クリエーションとのWEB商談
【開催期間】2021.3.24 【開催場所】和歌山県民文化会館
- みやげっとdeプレミアム和歌山
【事業者/商品数】46事業者/101商品
【設置場所】14箇所(ホテルアバローム紀の国、マリーナシティホテルなど)
- 加藤産業 KATO VIRTUAL EXPO 出展 <16ページ参照>
- 国分西日本 春季WEB展示会 出展 <16ページ参照>
- 第10回通販食品展示商談会 出展 <16ページ参照>
- テレビ東京系列通販テレビ番組及び通販サイト <5ページ参照>

9.わかやま食ツーリズムの推進

県産食材の魅力を地域から発信するため、「わかやまポンチ」「紀州梅バーガー」「わかやま産品応援店」「わかやまスムージー」「わかやまジビエ」の取組を展開
(主な取組)

○ご当地グルメ紹介Webサイト「わかやま食ツーリズム」による魅力発信

- ・「わかやまポンチ」「紀州梅バーガー」「わかやま産品応援店」の登録店舗情報を紹介



【わかやまポンチ】とは

- ①和歌山県産のうめ甘露煮又はシロップ漬け等の使用
- ②和歌山県産フルーツを1つ以上使用
- ③使用しているフルーツの説明があること



【紀州梅バーガー】とは

- ①和歌山県産のうめを使用していること
- ②うめの健康イメージをアピール出来ること
- ③和歌山県産のうめであることを表示すること



【わかやま産品応援店】とは

和歌山県の豊かでおいしい食材をPRするため、県産食材を使ったメニューの提供や販売を行うお店

○「わかやまスムージー」

- ・企業と連携した新商品の開発・販売
- ・県産野菜を使ったレシピ開発及びPR

【わかやまスムージー】とは

複数の野菜・果実を使用し、かつ和歌山県産の野菜又は果物を1つ以上使用したスムージー

○「わかやまジビエ」の販売促進と安全・安心のPR

- ・高級百貨店、食肉卸売業者、量販店での販売促進
- ・ジビエ肉質等級制度により外食業界へ積極的にPR



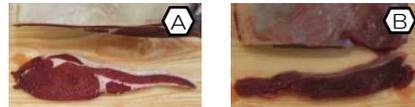
【わかやまジビエ肉質等級制度】とは

県認定格付員により、認証施設で解体した肉をイノシシ3等級、シカ2等級に格付けする制度

イノシシの例



シカの例



※皮下脂肪の厚さの他に、肉の締まり・きめ、色沢、脂肪の色沢と質によりランク付け



わかやま食ツーリズムバナーとQRコード



わかやまポンチ



わかやま食ツーリズムPR用カード



紀州梅バーガー



応援店看板



わかやまスムージー



スーパーでジビエ販売



ジビエソーセージ

'20 実績

【わかやま食ツーリズム】

- 「わかやまポンチ」「紀州梅バーガー」「わかやま産品応援店」を紹介したご当地グルメ紹介Webサイト「わかやま食ツーリズム」を開設 (2020.10.26)

掲載店舗数 (2021.3.31現在)

わかやまポンチ：36店舗 紀州梅バーガー：4店舗 わかやま産品応援店：116店舗

【わかやまポンチ】

- テレビ和歌山「6WAKA」(2020.11.12)、FMラジオ「HONDA SMILE MISSION」(2020.6.12)にて「わかやまポンチ」の取組をPR

- 新宿高野と連携し、「紀の川柿」、「甘熟柿“希”」、「まりひめ」を使用した「わかやまポンチ」の試食会を開催 (2020.10~2021.1)

【紀州梅バーガー】

- テレビ和歌山情報番組「6WAKA」にて「紀州梅バーガー」の取組をPR (2020.11.12)

【ジビエ】

- メッサオークワ高松店、ガーデンパーク店で販売 (2021.1.30~31、2.6~7)

10. 「おいしい！健康わかやま」の推進

より多くの消費者に和歌山の食材を知ってもらうため、「おいしい！健康わかやま」をキャッチフレーズに魅力いっぱいの県産品情報を発信
(主な取組)

○食イベントへ「和歌山県」ブースを出展

日本最大級のBtoCイベントである、「日本のまつりと故郷の味」をテーマにした「ふるさと祭り東京2022」に和歌山県ブースを出展し、県産品を販売・PR

【開催時期】1月上旬

【開催場所】東京ドーム

【主催】ふるさと祭り東京実行委員会

(フジテレビジョン、文化放送、東京ドーム)

【募集期間】6月～7月

【募集数】12事業者(予定)



ふるさと祭り東京 会場

'20実績

【開催期間】2021.1.8～2021.1.11【4日間】

【閲覧回数】750,404回(2021.1.1～2021.1.31)

【内容】オンラインサイト内に「和歌山県産品PR」特集ページを掲載し、県が開設している食の魅力PRサイト「おうちで和歌山」へ誘導
東京ドームから生中継(YouTube Live)配信により、ふるさと広報局長の中島由貴氏(声優)を活用した県産品のPR

○「おいしい！健康わかやま」の魅力溢れるプロモーション展開<6ページ参照>

- ・Instagramで「おいしい！健康わかやま」フォトコンテストを開催し、写真投稿を通じて新たな県産品のファンを獲得
- ・拡散効果が期待できる「高い話題性」や「高いエンタメ性」のある県産品情報をソーシャルメディアで発信
- ・和歌山県ゆかりの方々との協力による、YouTubeやInstagram等を活用した県産品の魅力発信
- ・県産品PR動画の作成、販促資材の貸与



Facebook



Instagram



YouTube



Twitter



販促資材

○「おいしく食べて美しくなるプロジェクト」の推進<6、19ページ参照>

- ・首都圏の美容に関心のある消費者が多く集まるイベントでの魅力と情報の発信
- ・「おいしく食べて美しく」をテーマにしたタイアップ記事をメディアで配信



肌測定によるPR



イベントでのPR



スーパーフード「柿」のPR



セミナーでの機能性情報の発信

○国内で開催されるビッグイベントへの県産品の提案やPR<6ページ再掲>

- ・「東京オリンピック・パラリンピック」、「紀の国わかやま文化祭2021」での県産食材の販売・PRや提供に向けた準備

11.大手食品企業とのタイアップによる商品開発

好感度が高く発信力のある大手食品企業とのタイアップにより商品づくりを行うことで、広く県産食材のPRを行い、さらなるイメージアップとわかやま食材のファンづくり(主な取組)

- 大手食品・飲料メーカー、コンビニエンスストアに県産食材の魅力をPR
- 「和歌山県共同開発商品PRマーク」の利用促進
- 「おいしく食べて美しくなる」プロジェクト商品の開発



(SNSを活用した情報発信)



(メーカーと協働したPR)



(コンビニと協働した販促資材によるPR)

食品メーカーやコンビニエンスストアで発売された県産食材を使った協力商品



(亀田製菓株)



(カルビー株)



(アサヒ飲料株)



(株)モスフードサービス



(カゴメ株)



(日本ルナ株)



(株)セブン-イレブン・ジャパン

『和歌山県共同開発商品PRマーク』

全国での和歌山県産品の認知向上を図ることを目的に、県と民間企業とが県産品を活用して共同開発した商品に付すロゴマークです。



'20 実績

- 亀田製菓株が、和歌山県産「ぶどう山椒」を使用した、『技のこだわり 和歌山県産ぶどう山椒味』を発売 (2020. 5. 18～ 全国のコンビニ 他)
- カルビー株が「紀州南高梅」を使用した、『サッポロポテトつぶつぶベジタブル はちみつ南高梅味』を発売 (2020. 7. 13～ 近畿2府4県の量販店、コンビニ 他)
- 日本ルナ株が和歌山県産「みかん果汁」を使用した『バニラヨーグルト 和歌山県産温州みかん』を発売 (2020. 9. 28～ 全国の量販店 他)
- カゴメ株が「有田みかん果汁」を使用した、『野菜生活100 有田みかんミックス』を発売 (2020. 11. 24～ 全国の量販店、コンビニ 他)
- (株)セブン-イレブン・ジャパンが「有田みかん」を使用した『有田みかんサンド』を発売 (2020. 12. 2～ 近畿2府4県のセブン-イレブン店舗 2,769店)
- アサヒ飲料株が和歌山県産「南高梅」の果汁・ピューレを使用した『三ツ矢梅』を発売 (2021. 2. 2～ 全国の量販店・コンビニ 他)
- (株)モスフードサービスが和歌山県産「南高梅果汁」を使用した『まぜるシェイク 紀州南高梅』を発売 (2021. 2. 10～ 全国のモスバーガー店舗 約1,300店)

Attention!

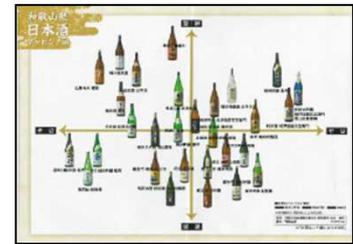
1 2. 県産酒類の魅力発信

和歌山の「日本酒」「本格梅酒」「クラフトビール」等のそれぞれの魅力や特徴をわかりやすく国内外の消費者にPRすることによるファンづくりと消費拡大

(主な取組)

注目! ○日本酒や本格梅酒の魅力を各種大型イベントでPR

- ・「日本酒マッピング図」を活用した日本酒の魅力の発信
- ・酒類の地理的表示指定を契機として作成した「梅酒マッピング図Vol.2」を活用した「本格梅酒」や「GI和歌山梅酒」の魅力発信
- ・和歌山梅酒プロモーション in フランスの実施<11ページ参照>シェフ、ソムリエ、メディア、バイヤー等を招待し、和歌山梅酒の魅力発信イベントをパリで開催
- ・ワイン・アルコール飲料の専門見本市「Wine Paris & Vinexpo Paris 2022」への出展<10ページ参照>



30種類の日本酒マッピング図



日本酒マッピング図

【本格梅酒】とは

日本洋酒酒造組合が平成27年1月23日に制定した自主基準で、うめ・糖類・酒類のみを原料とし、酸味料等を使用していない梅酒

【GI和歌山梅酒】とは

本格梅酒のうち、一定の生産基準を満たし品質が保証されているとして「GI和歌山梅酒管理委員会」の審査により認められた梅酒



46種の本格梅酒「梅酒マッピング図Vol.2」

- ・イベントや百貨店フェア、商談会などの機会を通じたPRの実施
阪急梅田百貨店「旅するSAKE」フェアへの出展 (2021.4.7~12)



梅酒マッピング図Vol.2

○その他の酒類のPR

- ・県産「クラフトビール」等の魅力を各種大型イベントでPR



報恩市 (高野山)



2020“よい仕事おこし”フェア (羽田空港)



和歌山梅酒フェア (新宿伊勢丹)



メディアでのPR

'20 実績

- 日本酒の特徴を解りやすく分類した「日本酒マッピング図」の作成・発信
- 本格梅酒の特徴を解りやすく分類した「梅酒マッピング図Vol.1.2」の作成・発信
- 「GI和歌山梅酒」指定(2020.9.7)に伴う共同記者会見の実施 (2020.9.8)
- 首都圏等におけるPR展開
 - ・ダイエット&ビューティーフェア2020におけるPR (2020.9.15~17)
 - ・報恩高野市での本格梅酒・GI和歌山梅酒の飲み比べ (2020.10.21)
 - ・わかやま紀州館「梅酒フェア」の開催 (2020.11.1~2020.1.31)
 - ・2020“よい仕事おこし”フェアにおける販売PR (2020.11.5~6)
 - ・高級百貨店和歌山フェアにおける販売PR (2020.11.18~24)

13.食品関係産業の振興

経済団体、金融機関、行政機関、食品産業団体等が協力体制を構築し、オール和歌山で食品関係産業の振興を推進するとともに、食品流通の核として重要な役割を持つ卸売市場の整備・強化を支援する。

(主な取組)

○経済団体、金融機関、行政機関等と連携した取組

- ・和歌山県中小企業団体中央会
- ・和歌山県商工会議所連合会
- ・和歌山県商工会連合会（食品関連情報の共有）
- ・（公財）わかやま産業振興財団
（産品商談会in和歌山 及び 産品商談会in大阪）
- ・（株）日本政策金融公庫（産品商談会in大阪）
- ・（株）紀陽銀行（地方銀行フードセレクション）
- ・きのくに信用金庫（食品関連情報の共有）
- ・農林中央金庫（JA・JFグループ近畿商談会）
- ・損保3社（※）との包括連携協定（企業内物産展）
※三井住友海上火災保険(株)、東京海上日動火災保険(株)、損害保険ジャパン日本興亜(株)
- ・（独）日本貿易振興機構（県産物の輸出）
- ・関西広域連合（各種セミナー、Web商談会） 等



各種セミナーの開催

○和歌山県食品産業協議会と連携した取組

- ・関連研修、各種セミナー、県内物産展出店

○食品流通懇談会の開催

- ・県内の卸売業者、仲卸、買参人、生産者、消費者や専門家等がそれぞれの見地から、本県の特性に応じた食品流通について議論する懇談会を開催（9月予定）

○和歌山市中央卸売市場の再編整備

- ・実需者ニーズに合わせたコールドチェーン対応の閉鎖型市場施設の整備
- ・実施年度：平成30年度～令和7年度
- ・実施概要：青果棟、水産棟、総合食品センター等の整備



'20 実績

○経済団体、金融機関、行政機関等と連携した取組

- ・（公財）わかやま産業振興財団：産品商談会in和歌山<17ページ参照>
- ・（公財）わかやま産業振興財団及び
（株）日本政策金融公庫：産品商談会in大阪<17ページ参照>
- ・関西広域連合：食品輸出セミナー（2021. 1. 25）

○和歌山食品産業協議会と連携した取組

- ・会員への食品関連情報の案内（年間91件）

○食品流通懇談会の開催（2020. 10. 12）

○和歌山市中央卸売市場の一部完成

- ・総合食品センター機能付加施設（2,527㎡）
- ・衛生施設（95㎡）、駐車施設（6,068㎡）、構内舗装（1,745㎡）

食品流通課ホームページでは各種事業内容の紹介を行っています。

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/071700/index.html>



ホームページ

様々な情報をメールで配信しています。（登録無料）

1. 県内事業者向け

- 「募集・ご案内メールマガジン」（毎週1回配信）
首都圏や海外展示会、販売催事及び国内外バイヤーとの商談会に係る事業者募集、各種セミナー開催等のお知らせ
- 「食流通信」（毎月1回配信）
事業の開催案内や結果報告等様々な情報をお知らせ



メールマガジンの登録

2. バイヤー向け

- 「旬のTasty healthy wakayama」（毎月1回配信）
県内事業者の商品情報や食品流通課の取組情報など旬の情報を配信
- 「わかやま食材テロワール」（毎月1回配信）
和歌山県の恵まれた自然や気候、生産者のこだわりの農業技術により育まれた食材情報を配信

【本庁問合せ先】

和歌山県農林水産部食品流通課

〒640-8585 和歌山市小松原通1-1
TEL：073-441-2815
FAX：073-432-4161
e-mail: e0717001@pref.wakayama.lg.jp

【出先機関問合せ先】

海草振興局農業水産振興課	〒640-8585 和歌山市小松原通1-1	TEL：073-441-3382
那賀振興局農業水産振興課	〒649-6223 岩出市高塚209	TEL：0736-61-0025
伊都振興局農業水産振興課	〒648-8541 橋本市市脇4-5-8	TEL：0736-33-4930
有田振興局農業水産振興課	〒643-0004 湯浅町湯浅2355-1	TEL：0737-64-1273
日高振興局農業水産振興課	〒644-0011 御坊市湯川町財部651	TEL：0738-24-2926
西牟婁振興局農業水産振興課	〒646-8580 田辺市朝日ヶ丘23-1	TEL：0739-22-1443
東牟婁振興局農業水産振興課	〒647-8551 新宮市緑ヶ丘2-4-8	TEL：0735-29-2011

※このアクションプログラムに記載している内容の一部には、様々な方面との協議を要し、適宜変更を行う場合がありますので、あらかじめ御了承ください。

